

町立富来病院新改革プラン  
(平成 29 年度～令和 2 年度)  
平成 30 年度実施状況報告書



令和元年 10 月 31 日



町立富来病院

## 目次

1. はじめに .....	1
2. 収支計画・数値目標の経過状況 .....	2
(1) 収支計画及び経営指標に係る数値目標 .....	2
(2) 医療機能等指標に係る数値目標 .....	6
3. 事業運営の具体的な取組みの実施状況 .....	8
4. 課題と令和元年度の取組み .....	16

## 1. はじめに

平成 27 年度に総務省が公表した「新公立病院改革ガイドライン」に基づき、平成 29 年度から平成 32 年度を対象とした町立富来病院新改革プラン（以下、新改革プラン）を策定しました。

新改革プランでは「地域医療構想を踏まえた役割の明確化」「経営の効率化」「再編・ネットワーク化」「経営形態の見直し」の視点から検討を行い、中期的な病院改革の方向性を示しています。

新改革プランを策定するにあたり、経営形態の見直しを視野にいたした病院運営検討委員会を立ち上げ議論を行いました。現段階で経営形態の具体的な見直しは見送り、病棟の機能再編などの各種経営改善施策を実行していくことになりました。

そして、町立富来病院改革検討委員会において新改革プランの点検・評価に合わせて、経営形態の見直しの必要性の検討を引き続き行っていくこととしています。

平成 30 年度は新改革プランの 2 年目にあたり、本報告書は新改革プランに基づいた取組み結果の点検評価を行います。

新改革プランの進捗状況のうち、収支計画、新改革プランに掲げた成果指標（経営指標、医療機能等指標）は達成率を示し、これらを達成するための取組みに対する達成度は下記の評点に基づき評価を行いました。

### 【取組みに対する評点】

区分	評価の内容
S	極めて順調に取り組まれている
A	順調に取り組まれている
B	取組みは確認されるが、より一層の取組みが期待される
C	取組みにあたり抜本的な改善が必要

## 2. 収支計画・数値目標の経過状況

### (1) 収支計画及び経営指標に係る数値目標

平成 30 年度における患者数は、入院患者数が一日平均 59.0 人、延べ 21,549 人で、平成 31 年 1 月から開設した介護医療院の入所者数は、一日平均 28.8 人、延べ 2,591 人で、入院及び入所の合計人数が 24,140 人となり、前年度対比 1,576 人の増となりました。また、外来患者数は、一日平均 164.2 人、延べ 44,159 人、前年度対比 288 人といずれも増となりました。

病院事業収益は、医業収益が 915,325 千円、介護収益が 44,071 千円、医業外収益が 240,292 千円で合計 1,199,688 千円となり、支出では、医業費用が 1,157,856 千円、医業外費用が 59,464 千円で合計 1,217,320 千円となりました。

この結果、経常収支額は、17,632 千円の赤字決算となり、経常収支比率は 98.6% となりました。

新公立病院改革プランのガイドラインでは、地域医療構想を踏まえた役割を果たすことに加え、経営の効率化を図り、対象期間中の経常収支比率を 100%以上にすることが求められています。

新改革プランの 2 年目にあたる平成 30 年度は、経営の効率化を図っていく過程として経常収支比率の計画値を 95.3%としていましたが、98.6%と目標値を上回り、更に前年度の 93.3%より 5.3%改善する結果となりました。

経営指標に係る数値目標の平成 30 年度実績は次のとおりです。

経営指標 1	経常収支比率	達成率	103.5%
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 経常収支比率は計画値 95.3%に対し 98.6%となり、計画値を達成しました</li><li>・ 地域包括ケア病床、介護医療院の開設など医療機能を転換し、これにより患者数が増加した要因が大きく、また医業費用も減少したことにより前年度実績 93.3%より 5.3%改善しました</li></ul>			

経営指標 2	医業収支比率	達成率	98.1%
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医業収支比率は計画値 84.5%に対し 82.9%となり、前年度実績 76.8%より 6.1%改善しましたが、計画値は未達成となりました</li> <li>・ 医業・介護収益は入院患者数・施設利用者数の増加に伴い、前年度実績より 41,886 千円増加しました</li> <li>・ 医業費用は前年度実績より主に減価償却費が減少し、36,071 千円減少しました</li> </ul>			

数値目標 3	給与費比率	達成率	95.4%
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医業・介護収益に対する給与費比率は 70.2%となり、計画値 67.0%より 3.2%上回り、計画値は未達成となりました</li> <li>・ 医師の異動に伴い非常勤医師を増員したこと、職員月額給与の増加を背景として給与費が 7,638 千円増加し、前年度実績より 1.0%上昇しました</li> </ul>			

経営指標 4	材料費比率	達成率	113.2%
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医業・介護収益に対する材料費比率は 13.6%と計画値 15.4%より 1.8%下回り、計画を達成しました</li> <li>・ ジェネリック医薬品への切り替えを推進した結果、薬品費が減少しました</li> </ul>			

経営指標 5	委託費比率	達成率	98.1%
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医業・介護収益に対する委託費比率は 15.4%となり、計画値 15.1%を 0.3%上回っており、計画は未達成となりました</li> </ul>			

経営指標 6	病床利用率	達成率	90.7%
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病床利用率は 68.2%（一般病床 66.2%）に留まり、計画値の 73.0%を達成できませんでした</li> </ul>			

経営指標 7	1日当たり外来患者数	達成率	96.6%
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1日当たり外来患者数は 164.2 人と前年度実績の 161.9 人より 2.3 人増加しましたが、計画値の 170 人を達成できませんでした</li> </ul>			

経営指標 8	入院患者 1 人 1 日当たり単価	達成率	98.3%
<ul style="list-style-type: none"> <li>入院患者 1 人 1 日当たり単価は 23,347 円と計画値 23,761 円を下回り、計画を達成できませんでした</li> <li>病床機能の転換により、10 月から一般病床 60 床のうち 22 床を包括単価の地域包括ケア病床に転換したことが要因として挙げられます</li> </ul>			

経営指標 9	外来患者 1 人 1 日当たり単価	達成率	91.2%
<ul style="list-style-type: none"> <li>外来患者 1 人 1 日当たり単価は 6,030 円と計画値 6,612 円を下回り、計画を達成できませんでした</li> <li>全体の外来患者数は増加しましたが、診療単価の高い整形外科の外来患者が減少し、診療単価の低い皮膚科の外来患者が増加したことによる要因が挙げられます。</li> </ul>			

経営指標 10	医師数	達成率	83.3%
<ul style="list-style-type: none"> <li>金沢医科大学の肝胆膵内科の医師 1 名が常勤でしたが、非常勤対応になったため、計画値を達成することができませんでした</li> </ul>			

経営指標 11	看護師数	達成率	102.8%
<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度から 3 名増となり、計画値より 1 名増加したため、計画を達成しました</li> <li>1 名が退職し、2 名が修学資金貸与者の採用、更に 10 月において 2 名の途中採用がありました。</li> </ul>			

経営指標 12	薬剤師数	達成率	100.0%
<ul style="list-style-type: none"> <li>11 月に嘱託職員として 1 名の採用があり、また金沢大学から薬剤師の派遣をいただき、薬局の体制を維持しました</li> <li>しかし、平成 29 年度末に 2 名の職員が退職し、平成 30 年度は嘱託・委託職員のみとなっています</li> <li>薬剤師の採用に向けて看護師同様、随時採用が可能となりましたが、石川県全体での薬剤師不足であり、採用が困難になっています</li> </ul>			

経営指標 13	事務職員数	達成率	100%
<ul style="list-style-type: none"> <li>正規事務職員 5 名、嘱託・臨時職員 2 名の合計 7 名となり、計画値を達成しました</li> <li>診療情報管理士の確保に向けて、候補者が資格取得のため現在、勉学に取り組んでいます</li> </ul>			

## 【収支計画・経営指標の数値計画と状況一覧】

勘定科目 経営指標	平成29年度	平成30年度		計画の差 ③-①	達成率	単位：千円 前年の差
	実績値①	計画値②	実績値③			③-②
I. 医業収益	917,510	1,002,327	915,325	-87,002	91.3%	-2,185
(1) 料金収入	831,530	922,576	829,621	-92,955	89.9%	-1,909
(i) 入院診療収益	550,871	620,223	563,535	-56,688	90.9%	12,664
1日当たり入院患者数	62人	72人	66人	-6人	91.9%	4人
病床利用率	63.1%	73.0%	66.2%	-6.8%	90.7%	3.1%
入院患者1人1日当たり単価	24,417円	23,761円	23,347円	-414円	98.3%	-1,070円
(ii) 外来診療収益	280,659	302,353	266,086	-36,267	88.0%	-14,573
1日当たり外来患者数	162人	170人	164人	-6人	96.6%	2人
外来患者1人1日当たり単価	6,401円	6,612円	6,030円	-582円	91.2%	-371円
(2) その他医業収益	85,980	79,751	85,704	5,953	107.5%	-276
II. 介護収益	0	0	44,071	44,071	#DIV/0!	44,071
(1) 料金収入	0	0	39,583	39,583	#DIV/0!	39,583
(i) 介護医療院介護料収益	0	0	39,583	39,583	#DIV/0!	39,583
1日当たり施設利用者数	0人	0人	29人	29人	#DIV/0!	29人
介護医療院施設利用率	0.0%	0.0%	84.7%	84.7%	#DIV/0!	84.7%
施設利用者1人1日当たり単価	0円	0円	15,277円	15,277円	#DIV/0!	15,277円
(2) 利用者等利用料収益	0	0	4,488	4,488	#DIV/0!	4,488
III. 医業外収益	255,175	184,383	240,292	55,909	130.3%	-14,883
(1) 他会計負担金・補助金	174,557	124,141	181,004	56,863	145.8%	6,447
(2) 国(県)補助金	1,241	241	181	-60	75.1%	-1,060
(3) 長期前受金戻入	73,687	54,497	53,351	-1,146	97.9%	-20,336
(4) その他	5,690	5,504	5,756	252	104.6%	66
経常収益	1,172,685	1,186,710	1,199,688	12,978	101.1%	27,003
I. 医業費用	1,193,927	1,186,610	1,157,856	-28,754	102.5%	-36,071
(1) 職員給与費	666,042	671,397	673,679	2,282	99.7%	7,637
給与費比率	72.6%	67.0%	70.2%	3.2%	95.4%	-2.4%
医師数	6人	6人	5人	-1人	83.3%	-1人
看護師数(正規)	34人	36人	37人	1人	102.8%	3人
薬剤師数	2人	2人	2人	0人	100.0%	0人
事務職員数	7人	7人	7人	0人	100.0%	0人
(2) 材料費	137,911	153,895	130,308	-23,587	118.1%	-7,603
材料費比率	15.0%	15.4%	13.6%	-1.8%	113.2%	-1.4%
(3) 経費	243,221	252,236	247,232	-5,004	102.0%	4,011
うち委託費	146,290	151,062	147,445	-3,617	102.5%	1,155
委託費比率	15.9%	15.1%	15.4%	0.3%	98.1%	-0.5%
(4) 減価償却費	128,512	97,362	94,877	-2,485	102.6%	-33,635
(5) その他	18,241	11,720	11,760	40	99.7%	-6,481
II. 医業外費用	62,686	59,228	59,464	236	99.6%	-3,222
(1) 支払利息	32,253	29,755	29,544	-211	100.7%	-2,709
(2) その他	30,433	29,473	29,920	447	98.5%	-513
経常費用	1,256,613	1,245,838	1,217,320	-28,518	102.3%	-39,293
医業損益	-276,417	-184,283	-242,531	-58,248	131.6%	33,886
医業収支比率	76.8%	84.5%	82.9%	-1.6%	98.1%	6.1%
経常損益	-83,928	-59,128	-17,632	41,496	29.8%	66,296
経常収支比率	93.3%	95.3%	98.6%	3.3%	103.5%	5.3%

## (2) 医療機能等指標に係る数値目標

医療体制の整備、取組みにおける数値目標を定め、各項目に対し活動を行っています。

医療機能等指標に係る数値目標の平成 30 年度実施結果は次のとおりです。

医療機能指標 1	救急患者数	達成率	105.0%
<ul style="list-style-type: none"><li>救急患者数の年間目標値 1,150 人に対し平成 30 年度実績は 1,207 人となり、前年度実績 1,055 人より 152 人増となりました</li><li>救急車による搬送は原則全件受入れ、常勤医不在の診療科においても診療内容の標準化により積極的に救急患者の受入れを行いました</li></ul>			
医療機能指標 2	在宅医療患者数	達成率	112.6%
<ul style="list-style-type: none"><li>平成 30 年度は、積極的に訪問診療を実施した結果、年間目標値 317 人に対し平成 30 年度実績は 357 人となり、前年実績 256 人より 101 人増となり目標を達成できました</li></ul>			
医療機能指標 3	重症度、医療・看護必要度 (一般病床)	達成率	181.7%
<ul style="list-style-type: none"><li>目標値 10.0%に対し平成 30 年度実績は 18.2%と目標を達成できました</li></ul>			
医療機能指標 4	在宅復帰率 (一般病床)	達成率	99.8%
<ul style="list-style-type: none"><li>在宅に復帰する患者割合が少なかったため、目標値 70.0%に対し平成 30 年度実績は 69.8%となり、目標を達成できませんでした</li></ul>			
医療機能指標 5	患者満足度(入院)	達成率	89.3%
<ul style="list-style-type: none"><li>入院患者満足度は、目標値 75.0%に対し平成 30 年度実績は 67.0%となり、前年度実績 63.1%よりも 3.9%上昇しましたが、目標を達成できませんでした</li></ul>			



【医療機能等指標の数値目標と状況一覧】

指標	平成29年度	平成30年度		目標値との比較	令和元年度	令和2年度	平成30年度評価	達成率
	実績	目標値	実績		目標値	目標値		
救急患者数（人）	1,055	1,150	1,207	57	1,150	1,150	A	105.0%
在宅医療患者数（人）	256	317	357	40	348	375	A	112.6%
医療・看護必要度（一般病床）（%）	12.10	10.00	18.17	8.17	12.00	12.00	S	181.7%
在宅復帰率（一般病床）（%）	75.31	70.00	69.84	-0.16	75.00	75.00	B	99.8%
入院患者満足度（%）	63.06	75.00	66.98	-8.02	75.00	75.00	B	89.3%

### 3. 事業運営の具体的な取組みの実施状況

収支計画・数値目標達成に向けた重点施策8項目と具体的なアクションプランの取組み状況は次のとおりです。

#### 【重点施策1：介護医療院（西病棟）への再編】

達成目標	平成30年度中に転換	評価	S
アクションプラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護報酬・施設基準等の情報収集</li> <li>再編シミュレーション及び再編詳細計画の作成</li> <li>施設基準に適合した施設・設備の整備</li> <li>施設基準に適合した人員配置へ変更</li> </ul>		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 西病棟は介護施設に入所困難な医療依存度の高い方を中心に受入れていました</li> <li>■ 国の介護療養病床の廃止決定に伴い、引き続き介護機能を維持するため、平成31年1月から医療療養病床22床と介護療養病床16床を介護医療院34床に転換しました</li> </ul> <p>&lt;介護報酬・施設基準等の情報収集&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年3月初旬に診療報酬・介護報酬の同時改定が行われ、介護医療院の施設基準が制定されました。当院がどの基準に適合するか、基準適合のために何が必要かなど情報を収集し、再編スケジュールを検討しました</li> </ul>		
課題及び今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で医療管理を必要とする要介護者情報を共有するため、本町のケアマネを中心とする定期連絡会等に積極的に参加します</li> <li>地域の医療機関や福祉関連機関と連携することで、医療と介護を必要とする要介護者を積極的に支援する体制づくりに努めます</li> </ul>		

【重点施策2：10対1入院基本料（東病棟）の取得】

達成目標	平成30年度中に取得	評価	A
アクションプラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看護師の確保</li> <li>・ 平均在院日数の適正化</li> <li>・ 重症度、看護必要度の確保</li> </ul>		
実施内容	<p>■ 東病棟は救急患者や手術患者などの重症患者を受入れています。急性期機能を向上させるために現状より看護師の配置が手厚い10対1入院基本料の取得に向けて取り組んでいます</p> <p>&lt;看護師の確保&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看護師採用の柔軟化に向けて志賀町との協議を進め、随時採用による募集を開始しました</li> <li>・ 就職イベントへの参加、広報での呼びかけ、求人票の見直しを図り看護師確保にむけた施策を推進しました</li> </ul> <p>&lt;平均在院日数の適正化&gt;&lt;重症度、看護必要度の確保&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短期入院患者の増加や急性期病棟における重症患者の受入れに関するベッドコントロールの強化を行いました</li> <li>・ 平均在院日数は10対1の施設基準である21日以内を維持しながら、重症度、医療・看護必要度は目標の10%を達成することができました</li> </ul>		
課題及び今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10対1取得可能な配置体制に向けて看護師の必要数を確保していきます</li> <li>・ 救急患者の受入強化、患者像に適したベッドコントロールを図り、病床利用率の確保と併せて取り組んでいきます</li> <li>・ 数々の基準をクリアし、平成31年度早々に取得する予定です</li> </ul>		

【重点施策3：地域包括ケア病床（東病棟）の設置】

達成目標	平成31年度末までに設置	評価	S
アクションプラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 診療録管理体制加算の取得</li> <li>・ データ提出加算の取得</li> <li>・ 施設基準に適合した施設・設備の整備</li> <li>・ 施設基準に適合した人員配置へ変更</li> <li>・ 重症度、看護必要度（地域包括ケア病床）の確保</li> <li>・ 在宅復帰率（地域包括ケア病床）の維持</li> <li>・ リハビリテーション（地域包括ケア病床）の充実</li> </ul>		
実施内容	<p>■ 東病棟の一部に入院治療後、病状が安定した患者に対し、リハビリや退院支援などの在宅復帰支援を充実するための地域包括ケア病床の設置に向けて、システムの整備、人員の確保を進め、前倒しで平成30年10月に設置しました。</p> <p>&lt;診療録管理体制加算の取得&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 診療録管理体制を見直し、診療録管理体制加算を取得できました</li> <li>・ 更なる診療録管理の質向上のため、診療情報管理士の確保を進めています</li> </ul> <p>&lt;データ提出加算の取得&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設基準となっている診療データの提出に向け、システムを導入し、平成30年6月からデータ提出加算を取得できました</li> </ul>		
課題及び今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 算定を継続していくために必要な施設基準（重症度・看護必要度・リハビリテーションの充実）を毎月確認しながら質の高い医療の提供を実施していきます</li> </ul>		

## 【重点施策 4：地域連携機能の強化】

達成目標	-	評価	A
アクション プラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域医療連携室の強化</li> <li>・ 地域カンファレンスの実施</li> <li>・ 出前講座の充実</li> <li>・ 紹介患者の増加</li> </ul>		
実施内容	<p>&lt;地域連携活動の強化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域医療連携室が中心となって、地域の医療機関、介護施設への訪問活動を強化し、要望・ニーズの把握、対策に取り組みました</li> <li>・ 町内外の医療機関、介護施設、居宅介護支援事業所を巡回訪問し、当院の機能紹介を行い、地域包括ケア病床の利用と介護医療院入所の増加を図っています。</li> </ul> <p>&lt;地域カンファレンスの実施&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケアマネ連絡会を毎月開催し情報共有を図りました</li> <li>・ 居宅介護支援事業所の担当者会議に参加し、連携強化を図りました</li> </ul> <p>&lt;出前講座の充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出前講座のリストを作成し、各関係施設へ配布しました</li> <li>・ 院内で健康講座を開催しています</li> </ul> <p>&lt;紹介患者の増加&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クリニックや介護施設からの紹介と高度急性期病院からの回復期の患者の紹介の受入れに取り組めました</li> <li>・ 723 件の紹介患者があり、前年度より 95 件増加しました</li> </ul>		
課題及び 今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多職種により内容等検討の上、引き続き出前講座、院内での健康講座の開催、充実を図っていきます</li> <li>・ 地域の医療・介護施設との地域連携強化に向けて引き続き施設訪問活動を行っていきます</li> </ul>		

【重点施策 5：在宅医療・在宅復帰支援体制の強化】

達成目標	-	評価	A
アクションプラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在宅復帰率（一般病床）の向上</li> <li>・ 在宅患者数の向上</li> <li>・ 訪問リハビリの充実</li> <li>・ 通所リハビリの充実</li> </ul>		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高齢化が進み、増加する在宅医療ニーズに対応するため、在宅医療・在宅復帰支援体制の強化に取り組みました</li> <li>■ 通所リハビリ件数は 732 件と前年度 279 件から大幅に増加し、対前年度比 262.4%となりました</li> <li>■ 訪問リハビリ件数は 2,025 件と前年度 2,095 件から減少し、対前年度比 96.7%となりました</li> </ul> <p>&lt;在宅復帰率（一般病床）の向上&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入院初期に問題点を抽出し、院内他職種と連携して日常生活での自立を目指して患者の支援を進めました</li> <li>・ 問題が解決できない場合は、家族やケアマネージャーと協議し退院先を決定していきました</li> </ul> <p>&lt;在宅患者数の向上&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通院困難患者への働き掛け、在宅医療に関するパンフレットの作成により患者への啓蒙活動を実施しました</li> <li>・ 毎週訪問する体制を整備しました</li> </ul> <p>&lt;訪問リハビリの充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケアマネ事業所への訪問活動をより頻回に行い、情報提供を図りました</li> <li>・ 地域における訪問リハビリの普及に向けて、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターとの合同勉強会に参加し、情報共有を図りました</li> </ul> <p>&lt;通所リハビリの充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 退院患者を対象とした通所リハビリの推進を行いました</li> </ul>		
課題及び今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き活動を継続し、在宅医療、在宅復帰支援体制の強化及び普及を推進していきます</li> <li>・ 病床再編に伴い、リハビリスタッフの配置を再検討する必要があります。新規人材の確保、人材配置を再度検討し、効率的な運営を目指していきます</li> </ul>		

【重点施策6：患者サービスの充実】

達成目標	-	評価	B
アクションプラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接遇の向上</li> <li>・ 広報活動の強化</li> <li>・ 病院アクセスの改善</li> <li>・ 患者満足度の向上</li> </ul>		
実施内容	<p>■ 外来・入院とも患者満足度の向上を目指し、下記の取り組みを行いました</p> <p>&lt;接遇の向上&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員における接遇の向上を図るため講習会を開催し、全職員に周知しました</li> </ul> <p>&lt;広報活動の強化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出前講座や病院主催の健康講座等を継続的に実施しました</li> <li>・ 介護医療院や地域包括ケア病床についてパンフレットを作成し、地域連携室が中心となり、町内の施設に配布し啓発を行いました。</li> </ul> <p>&lt;病院アクセスの改善&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内科の午後外来の診療案内を行い受診しやすい環境を整備しました</li> </ul> <p>&lt;患者満足度の向上&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 待合室においてDVD上映や雑誌の充実を進め、待ち時間のストレス解消に努め、患者への積極的な声掛けや検査場所への案内等、患者に寄り添った対応に取り組みました</li> <li>・ 内科医師の増加により、診察の充実、待ち時間の短縮に一定の効果がありました</li> <li>・ 眼科に医療機器を増備し、患者への診断が充実しました</li> </ul>		
課題及び今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、出前講座、健康教室等の広報活動や患者満足度の向上に向けた接遇、患者サービスの充実を図っていきます</li> <li>・ 院内の活動を積極的に広報誌やホームページに掲載し、積極的に情報発信を行っていきます</li> <li>・ ケーブルテレビを活用し、病院案内や外来診療に関する情報等を継続的に放送していきます</li> </ul>		

【重点施策7：費用削減・抑制対策の実施】

達成目標	-	評価	B
アクションプラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収益的経費全般の削減</li> <li>・ 資本的事業の抑制</li> <li>・ 医薬品・診療材料の品目数の集約化</li> <li>・ 後発医薬品の採用・使用促進</li> <li>・ 5S活動の実施</li> </ul>		
実施内容	<p>■ 収支改善に向けて積極的に費用の見直しを図りました</p> <p>&lt;収益的経費全般の削減&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電気料の値上げ、燃料費の高騰、及び施設設備老朽化に伴う修繕費の増により、前年度と比較し経費が増加しました</li> </ul> <p>&lt;資本的事業の抑制&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当初計画に沿った医療機器等の購入を行いました</li> </ul> <p>&lt;医薬品・診療材料の品目数の集約化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用頻度の少ない医薬品の整理及び院外限定採用への移行等を実施しました</li> <li>・ 各部署における医薬品のストック定数の見直しを行い不良在庫の削減を図りました</li> </ul> <p>&lt;後発医薬品の採用・使用促進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬局が中心となり、後発医薬品への切替えを実施し後発医薬品使用体制加算2を取得しました</li> <li>・ 地域包括ケア病床の設置により、患者に合わせた薬剤管理を行うことができるため、以前より廃棄となる薬剤を減らすことができるようになりました</li> </ul> <p>&lt;5S活動の実施&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検査室が中心となり院内物品の整理整頓を進めていきました</li> </ul>		
課題及び今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品・診療材料のコスト削減に関し継続して取り組んでいきます</li> <li>・ 後発医薬品への更なる切替えを実施し、後発医薬品使用体制加算3を取得します</li> <li>・ 引き続き、経費全般の見直し、資本的事業の抑制を図り、費用削減に取り組んでいきます</li> </ul>		



【重点施策 8：組織経営管理体制の強化】

達成目標	-	評価	A
アクション プラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院専従の事務職員の採用</li> <li>・ 診療情報管理士の確保</li> <li>・ 目標管理に基づくマネジメントシステムの構築</li> </ul>		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 経営改善、計画の着実な実行に向けて組織経営管理体制の強化に取り組みました</li> </ul> <p>&lt;診療情報管理士の確保&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 候補者の資格取得時期が計画より 1 年遅れの令和元年度になる予定になりました</li> <li>・ 診療情報管理体制の強化に向けて病院として資格取得へバックアップを行っています</li> </ul> <p>&lt;目標管理に基づくマネジメントシステムの構築&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新改革プランの実行管理及び各部署における目標管理を外部専門家の意見を取入れ実行しました</li> </ul>		
課題及び 今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標管理に基づくマネジメントシステムの定着に向けて引き続き新公立改革プラン及び各部署目標の進捗管理を行っていきます</li> <li>・ 診療情報管理士の確保により、経営管理へのバックアップ体制の強化、診療録管理に基づく適正な医療情報への介入、データ分析による病院機能の管理・計画を実現していきます</li> </ul>		

## 4. 課題と令和元年度の取組み

- 外来患者の確保と病院の啓発活動  
人口減少とともに外来患者が減少傾向にあり、患者の確保が重要課題となっています。引き続き、地域の医療・介護施設との連携強化、地域住民に対する情報提供を行い、病院の啓発活動を通して広く病院の周知を図り、外来患者の確保を行っていきます
- 医療従事者の確保  
病院機能の維持、充実のために必要な医師、看護師、看護補助者、薬剤師の採用が困難となっています。大学など関係機関との連携を深め、積極的な採用活動を行っていきます
- 患者満足度の向上  
患者満足度の向上を目指し、待ち時間の改善、接遇向上、広報活動などの施策に継続して取り組んでいきます
- 医療機器等に係る費用の削減  
施設設備への投資を今後の病院経営の方向性に合わせて整備を進め、経費全般の削減に取り組んでいきます
- 経常収支額の黒字化  
入院患者数及び施設利用者数の増加に伴い、本年度において収益増加が見込まれています。病院職員全体が改善意識を持ち、多職種で連携しながら良好な状況を継続させ、収支黒字化に向けて努めていきます